

## [F2] ドイツ軍艦長の最終運命チャート(1d20を振る)

1. 戦後、ドイツ海軍に留まった。1928年9月24日から1930年10月10日まで、軽巡洋艦Emdenを指揮した。1930年代、トルコ海軍大学で教鞭をとった。WWⅡでは現役に呼び戻され、中將に昇進した。1941年2月24日、Le Bourget飛行場近郊で乗機が墜落して死去した。Berlinのインヴァーリデン海軍墓地に埋葬された。
2. 1921年、彼は弁護士資格を取った。1929年から1933年まで、彼はDuisburg市民の代表者でドイツ人民党の議会指導者だった。第二次世界大戦で、彼はOsnabrückとCopenhagenで異なる管轄区の長に従事した。戦後、建設会社顧問の一人となり、ドイツ移民連盟の副総裁になった。1973年11月2日に死去した。
3. 戦後、彼はKielでエンジンや部品の貿易をしている小さな会社を始めた。後に船主となった。1940年1月、彼はKiel-DanzigのU-Boots-Abnahmekommission (UAK) のグループ指揮官に任じられた。1945年3月31日、彼はドイツ海軍を解雇された。1949年6月19日にデンマークのSønderborgで死去した。
4. 戦後、彼はドイツの業界で活躍し、その功績で名誉SS大佐の称号を受けた。1945年8月、そのSS称号のために拘禁され、5年間の禁固を受けた。収監中に病気になり、そのときまでに手術が認められたものの、彼はあまりにも脆弱になっていた。彼は僅か4年後の1949年8月16日に亡くなった。Lippstadtに埋葬された。
5. 戦後、彼は業界で活躍した。第二次世界大戦中、1940年2月から5月までUボート訓練部隊の指揮を執った。1969年12月6日、Essenで死去した。
6. 戦後のヴァイマル共和国時代に、彼は宣伝会社を設立した。1935年、パイロットになるための訓練後、彼はドイツ空軍少佐の階級で軍に復帰し、Berlinの空軍省で兵站のトップになった。1944年、重病の後、彼は中將の階級で従事続けた。1945年、ソヴィエトに逮捕され、25年の禁固を言い渡されたが1955年に釈放され、Hamburgに戻り1970年10月4日にそこで死
7. 1919年、彼は有名な海兵旅団von Löwenfeldtに入隊し、1920年に退役した。民間人として、鉄工所の指導者、役員として働き、1938年1月30日にSSに入隊した。1939年に軍に復帰すると、海軍に入隊した。戦後捕虜となり、1947年12月19日に釈放された。1957年9月26、Kölnで死去した。
8. 1920年代、彼はBuenos Airesの北ドイツ・ロイド(NDL)海運代表者となった。1978年1月27日、Kölnで死去した。
9. 戦後、彼は海軍に留まった。1929年に退役し、Führer des Verbandes der Unterseeboot Kameradschaftenになった。1936年、再び大尉として従軍した。1950年1月4日に死去した。
10. 戦後、彼は海軍に留まり、1935年3月1日に大佐としてルフトヴァッフェに入隊した。1940年11月には、航空兵大將になった。1945年3月13日、彼はイタリアで謎の死を遂げた。
11. 戦後、彼は1920年8月まで軍に留まり、中佐の階級で退役した。1934年11月4日、Plönで死去した。
12. 1919～1920年、彼は海兵旅団von Lowenfeldtに入隊した。1920年から1937年にかけて、彼は南米でビジネス活動を行った。1971年6月12日に死去した。
13. 終戦時、彼は軍に留まり、1919年11月18日に少佐に昇進した。第二次世界大戦では、潜水艦訓練学校の教官に任命された。彼は1945年2月28日に加齢のため退役し、1948年6月23日にDüsseldorfで死去した。
14. 戦後、彼はドイツ海軍で経歴を続けた。昇進の課程を通して、有名なドイツ軍情報部アブ・ヴェーアの重要メンバーになった。彼はヒトラーへの抵抗を手助けしたが、1945年4月9日に逮捕され、Flossenburugの集合キャンプでゲシュタポに処刑された。それはキャンプが米軍に解放される僅か2週間前のことだった。
15. 戦後、彼はドイツを去ってブラジルのコーヒー農場で働いた。何年か後にドイツへ戻り、国会で国家社会主義者になった。1945年5月14日、ザクセンのFalkenauで死去した。
16. 戦後、彼はヴァイマル共和国海軍で16年間を費やした。1934年9月、巡洋艦Emdenの艦長となり、1936年にはUボート部隊の重要な地位を占め、1945年のドイツ降伏まで留まった。彼は戦争犯罪で告発されて刑務所に入り、1956年に釈放された。彼は残りの人生をHamburg近郊の小さな村Aumühleで費やし、1980年12月24日に死去した。
17. 1919年に退役した。戦後は事業を手がけ、工業会社の経営者になった。1973年11月2日、Essenで死去した。
18. 戦後、彼は後にドイツ海軍 [Kriegsmarine] になるワイマル共和国海軍に留まり、大將の階級で退役した。1976年3月20日、Mölln(シュレスヴィヒ・ホルシュタイン)で死去した。
19. 1924年に引退し、自営のジャガイモ農場で余生を送った。1960年7月5日に、Ojdenburgで死去した。
20. 戦後、彼は軽巡洋艦Karlsruheの艦長職を与えられた。1937年8月24日に、ネーデルラントのDen Haagで死去した。1939年、あるUボート艦隊は彼の栄誉に因んで名づけられた。